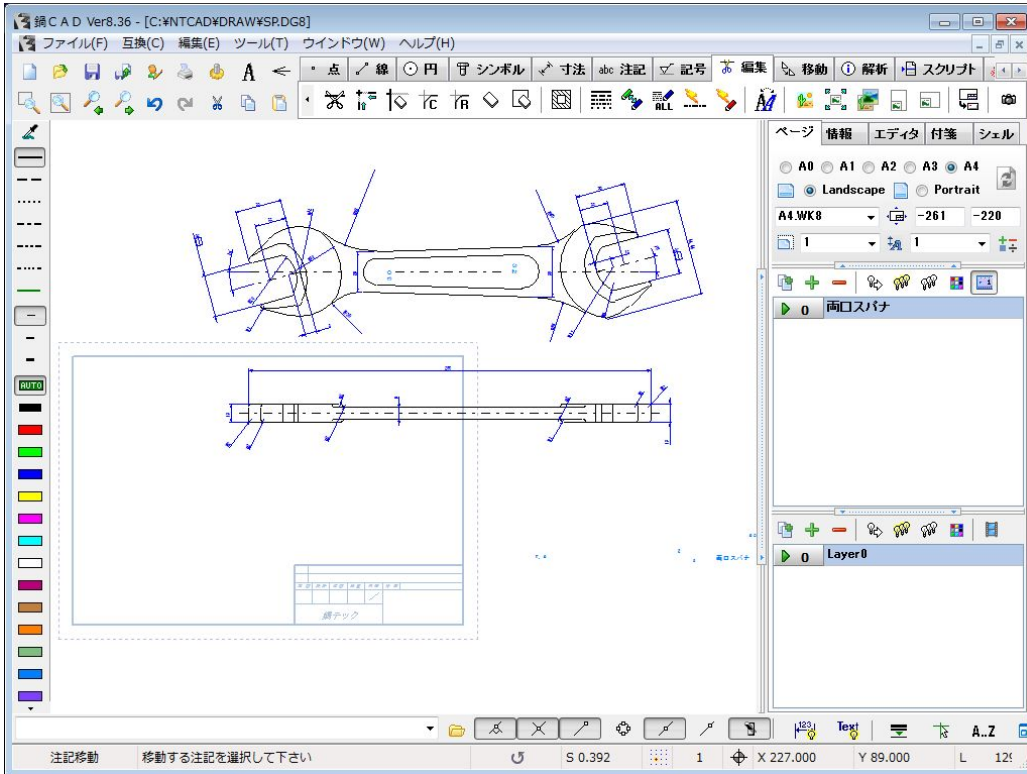
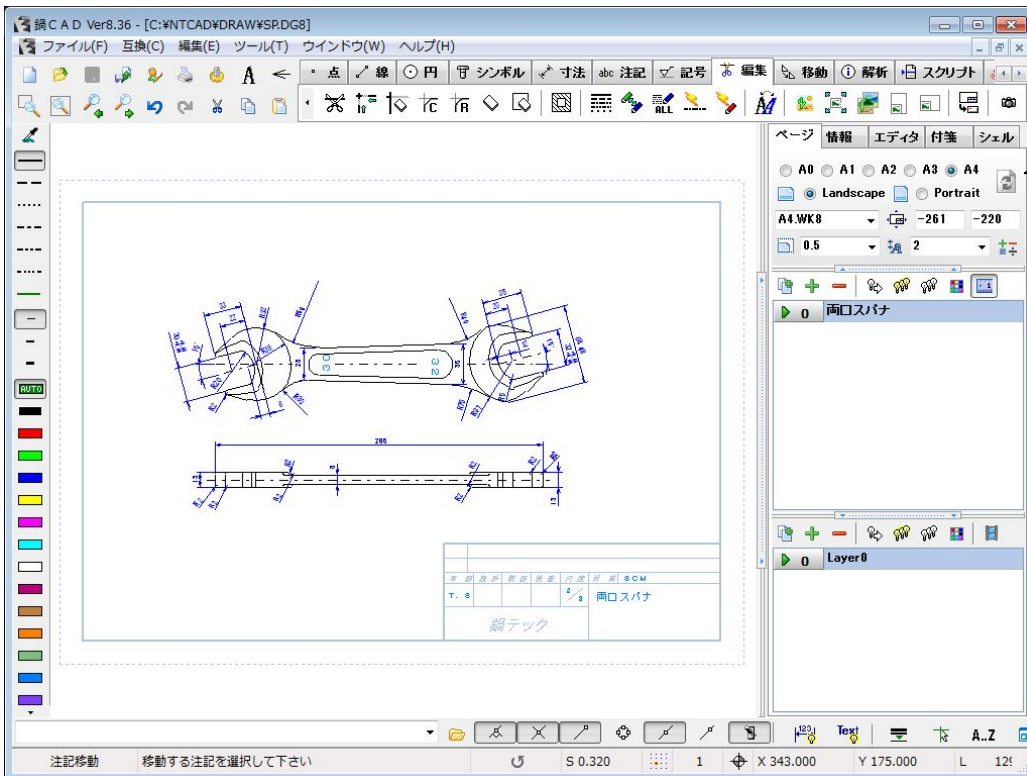


【1】鍋CAD図枠の観念

鍋CADの場合都度図枠を作図するのではなく、いったん専用図枠を登録しておいて再利用します。動作自体はシンボルと似ていますが、違うところは図面倍率に影響されないところです。



例えば、図面を1/2で書くとすると図面倍率は0.5になりますが、ページ設定にて0.5と設定し、更新ボタンを押すと図枠が見かけ上大きくなります。しかしこれは図枠が大きくなったのではなく作図要素が小さくなったのです。



この様に図枠とページ設定の図面倍率は連動しています。

【2】図枠の登録方法

適切に使用するための注意事項として以下の項目が有ります。

- ・ A4～A0まで（縦向きと横向き別）用紙原寸にて枠を、自社仕様に合わせて作図しなければなりません。
- ※この段階では通常の図面要素として作図しますが、下記用紙サイズを意識して作図して下さい。

A0 : 1189×841

A1 : 841×594

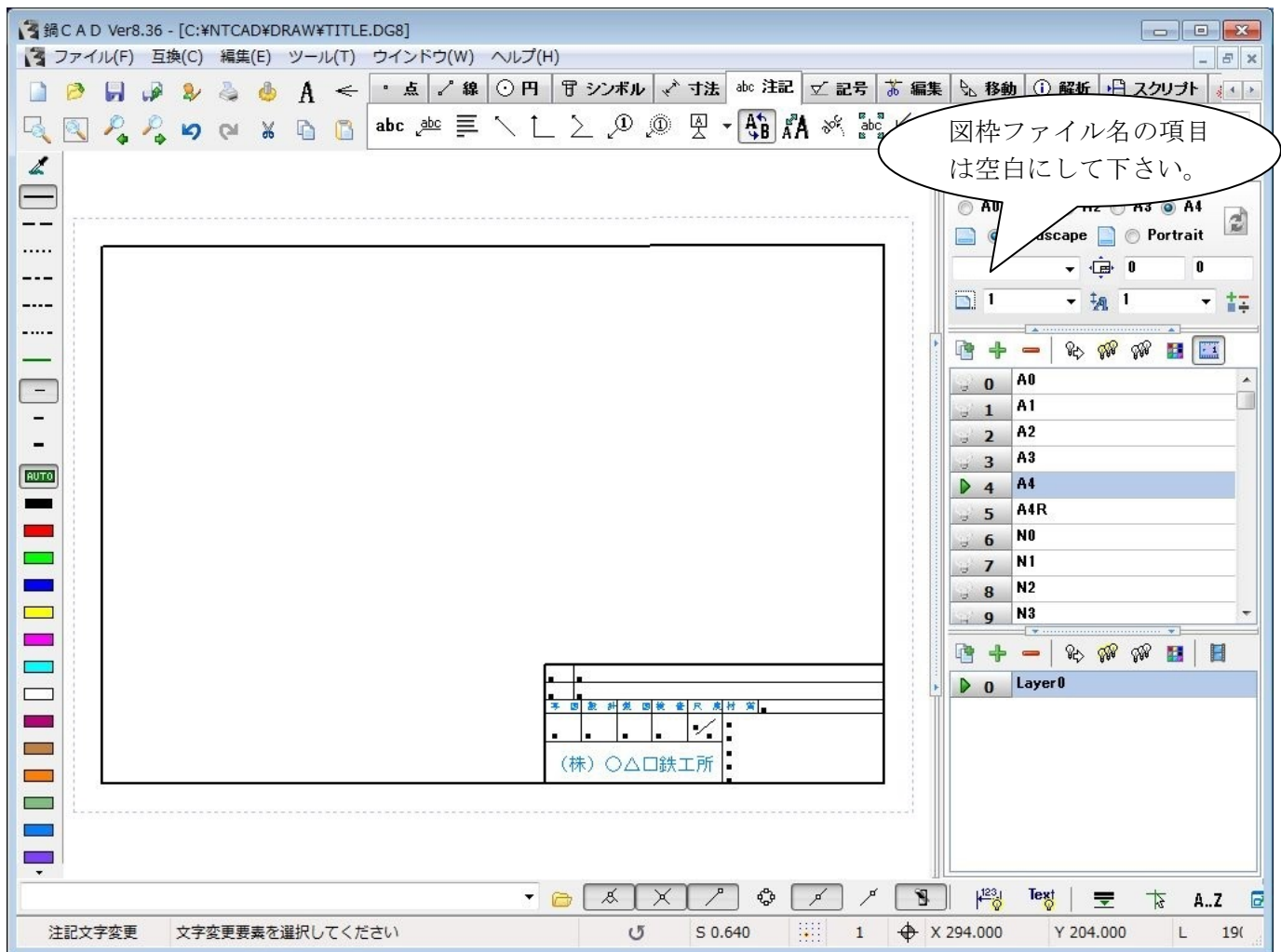
A2 : 594×420

A3 : 420×297

A4 : 297×210

- ・ 用紙サイズごとに名前をつけて保存します。
- ・ 保存するフォルダはC:\NTCAD\TITILEになります、環境設定にて変更も出来ます。

とりあえずはサンプル図のTITLE.dg8を開いてご覧下さい。



この場合会社名を「(株) ○△□鉄工所」に、注記文字変更コマンドで変えてみました。

説明が早いようにサンプル図を引用しましたが、当然1から書いても構いません。

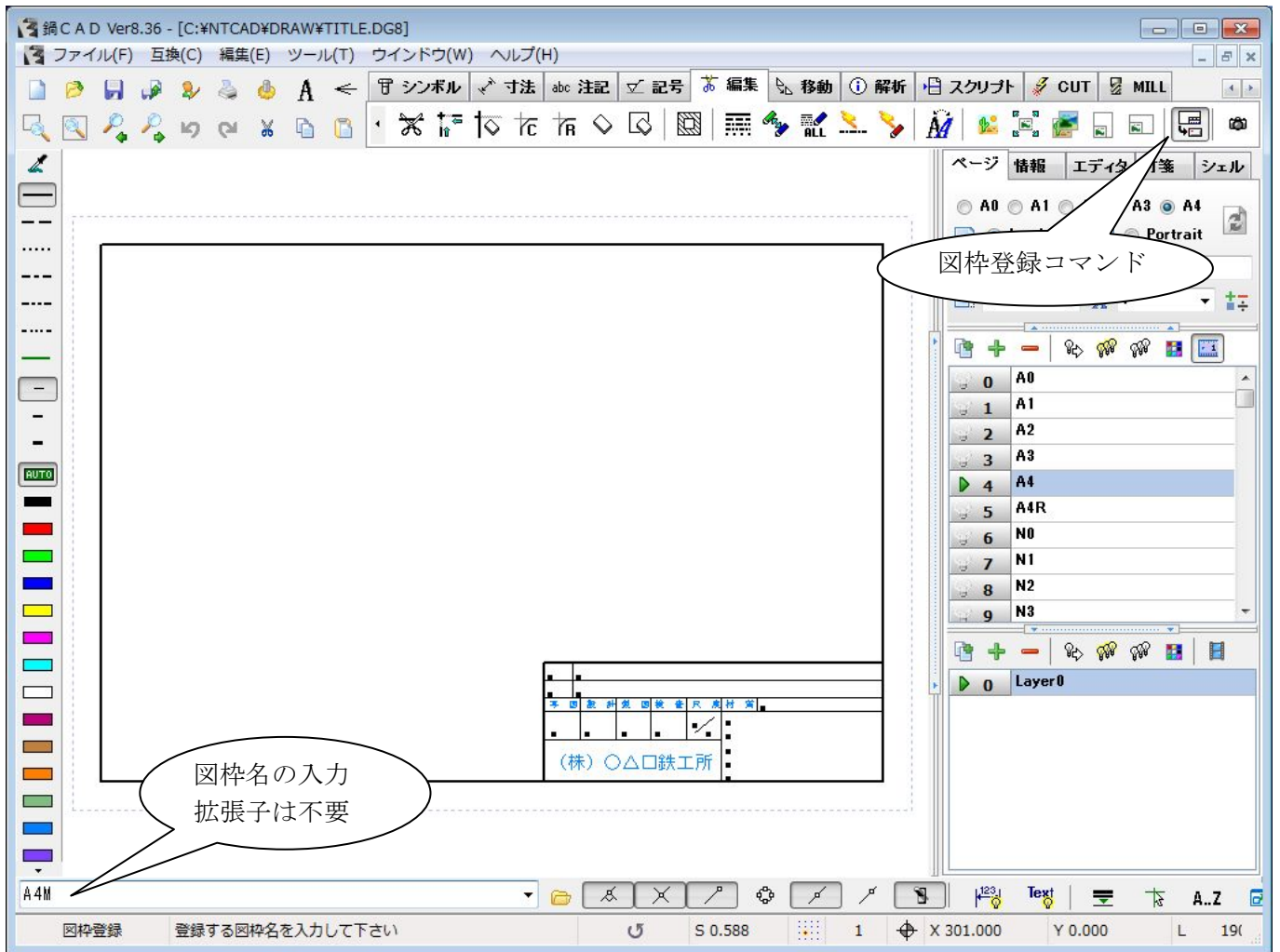
くどいようですが、用紙サイズにて書いて下さい。図枠の元絵の場合は図面倍率・寸法倍率は全く関係なく設定しても反映されません。

※紛らわしいので、図枠ファイル名の項目は空白にして、図枠を表示しないようにしておいて下さい。

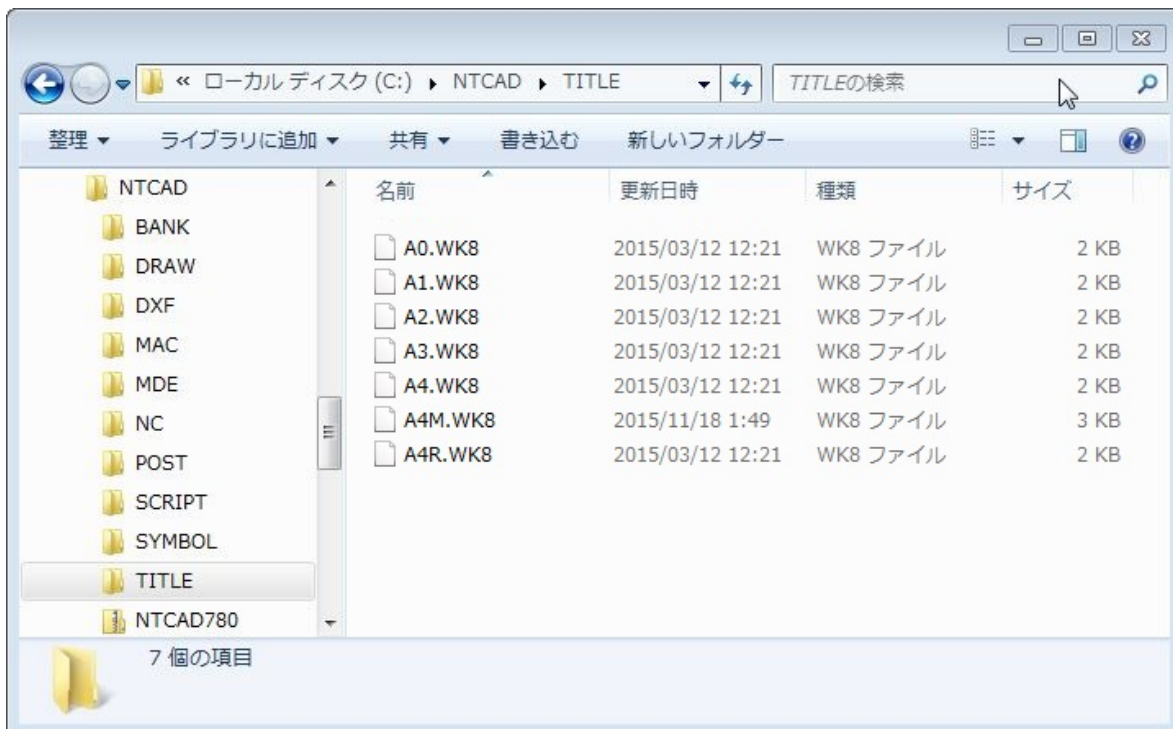
※編集後の TITLE.dg8 は MyTitle.dg8 等に別名保存しておいて下さい。今後元絵として繰り返し編集して利用します。

【3】図枠の登録

只今サンプルを修正した物をA4M.WK8として登録します。

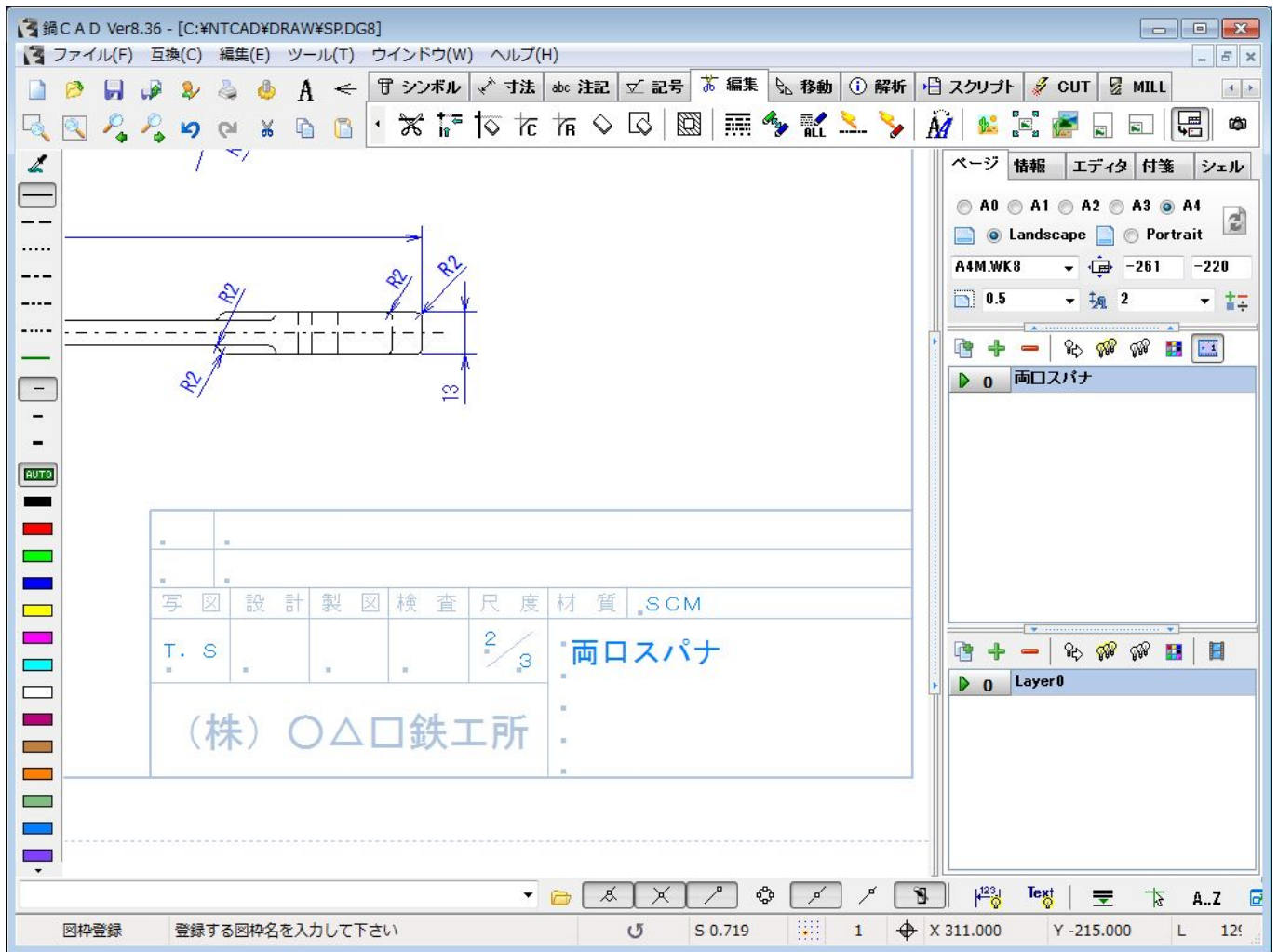


この作業にてTITLEフォルダに登録された図枠（A4M.WK8）は、以後何度でも再利用することが出来ます。



【3】図枠の利用

登録された図枠はページ設定の図枠ファイル名にて設定します。



このようにしてオリジナルの図枠を各種揃えれば作業効率の向上に繋がります。

当然ですが、ページ毎に違う図枠を設定できます。

※Ver8の図枠から、点の登録が出来る様になりました。この点だけはポインティング出来ますので、注記の配置が楽になります。

※最も重要なことですが、鍋CADの図枠機能は必ずしも使う必要は無く、通常の図面要素として書いても問題有りません。こだわらないで下さい。

なお、ご不明の点は、サポート掲示板にて質問して下さい。

※メールによる個別サポートは行っておりません。

 鍋テック 担当 坂田
E-Mail info@nabotech.com
HP <http://www.nabotech.com/>